

08年度概算要求

⑤

国交省

点検

役割を強調した。

国交省は08年度予算の概算要求で07年度当初予算比21%増の6兆5730億円（重点施策推進要

源化する議論がいよいよ大詰めを迎えるが「07年度見込みと同額の収収」（道路局）を前提に従来どおり、認められた基準枠をみいっぱい使って道路予算を求めた。政府は08年度予算の公共事業費を前年度比で3%削減する方針を決めて

地域活性化への早道

公共事業、強気崩さず

「中央と地方の格差を考えると公共事業、とりわけ道路整備がいちばん効果があるように思えてならない」。8月27日、内閣改造で統投が決まった冬柴鉄三国土交通相は会見に臨み、具体的に道路整備が企業立地を促して雇用を創出している事例を挙げて、公共事業が地域活性化に果たす

望む）の公共事業費を要求。道路関係では道路特定財源の収見込み額より2335億円多い3兆4311億円を計上した。年末に向けて道路特定財源を見直し、一般財

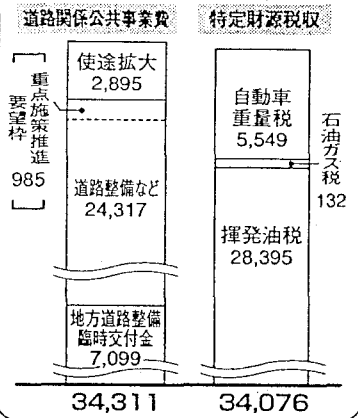
源化する議論がいよいよ大詰めを迎えるが「07年度見込みと同額の収収」（道路局）を前提に従来どおり、認められた基準枠をみいっぱい使って道路予算を求めた。政府は08年度予算の公共事業費を前年度比で3%削減する方針を決めて

いる。だが、参院選の与党大敗で歳出拡大圧力が強まっていることも背景となつて、国交省は強気の姿勢を崩していない。一方、道路と同様に、地域活性化の観点から地

方が熱望しているのが整備新幹線の建設。08年度要求では国費が07年度当初予算比12%増の789億円、地方負担分などを含めた総事業費は同16%増の3069億円と過

去最高の査定額になる見込み。「04年12月の政府与党申し合わせに基づき、着実な整備を推進する。過去最高の事業規模になるのは東北、九州の両新幹線で新規区間の開業が控えているため」（鉄道局）と少しもはばからない。本格的な少子高齢化・人口減少社会を迎え、経

国土交通省の08年度概算要求における道路関係予算の収支（単位：億円）



済のグローバル化が進む中で「国際競争力の強化」と「地域の活性化」という政策目的は、錦の御旗。港湾整備でもアジア主要港で最高レベルのコスト・サービスを目指す「スーパースター中核港湾プロジェクト」の推進とともに地方港湾を想定し、新規施策として臨海部に立地する企業に公共埠頭の長期貸し付けや専用荷役機器の設置を認めて地域活性化につなげる「臨海部産業エリアの形成」を打ち出している。インフラ整備を押し進めてグローバル化への対応と、地域経済底上げの両立を狙う国交省のスタンスは鮮明だ。